

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1,2学年 第3,4学年 第5,6学年	図工・105, 図工・106 図工・305, 図工・306 図工・505, 図工・506	ずがこうさく1・2上 わくわくするね, ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな, 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて, 図画工作5・6下 つながる思い
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標, 内容等	<p>○ 造形遊びをする活動については, 目標を達成することができるよう, 次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～砂や落ち葉に触れながら感じたことを行ったり, 紙をねじったり, さいたりすることを通して, 進んで表す態度を身に付け, つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第3,4学年～ビニルに空気を入れつなげたり, 段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫したりすることを通して, 進んで表す態度を身に付け, つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第5,6学年～場所の形や使われ方を捉えて変身させたり, 光と水のよさを生かし, 組み合わせで表したりすることを通して, 進んで表す態度を身に付け, つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>○ 絵や立体, 工作に表す活動については, 目標を達成することができるよう, 次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～絵や指を使った描き方を工夫して絵に表したり, 形や色, 紙の貼り方を工夫しておめんを作ったりすることを通して, 進んで表す態度を身に付けつくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第3,4学年～色々な布の形や色から作りたいものを考えたり, 材料に光を通した感じから, 作りたいランプを考えたりすることを通して, 進んで表す態度を身に付け, つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第5,6学年～季節を感じて表したいことや表し方を考えたり, 液体ねん土で白くした形から表したいことを考えたりすることを通して, 進んで表す態度を身に付け, つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>○ 鑑賞する活動については, 目標を達成することができるよう, 次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～友達の描いた好きなものを見て楽しんだり, たからものの形や色などに気付き, 大切にしている理由について友達と交流したりすることを通して, 面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>第3,4学年～作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考えたり, 作品の形や色から感じ取ったことについて, 互いの見方や感じ方のよさや違いを味わったりすることを通して, 面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>第5,6学年～墨や筆の色々な技から作品のよいところを考えたり, 作品に描かれている町の様子から色々なことを想像して, 見方や感じ方を深めたりすることを通して, 面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>○ 【共通事項】については, 目標を達成することができるよう, 次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～身の周りにあるでこぼこを探してこすり出したり, のびした絵の具の形や色から表し方を考えたりすることを通して, 形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p> <p>第3,4学年～影の形から表したいことを考えたり, 木の触感から感じたイメージの表し方を考えたりすることを通して, 形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p> <p>第5,6学年～人の動きや形を捉えて表し方を工夫したり, あったらいいなと思う新製品を考え, 協力してアイデアを考え表し, 楽しんだりすることを通して, 形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「あなでつながる二つの世界」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、表と裏の二つの世界を考え、友だちと話し合い、作品を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「みんなでつくろうねん土ランド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、どんな作品にしたいのかを考え、友だちと話し合い、アイデアを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「学校おすすめガイド」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学校のおすすめしたいものを考え、友だちと話し合い、学校の色々なよさを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～箱と箱を組み合わせて立体に表す活動、身近な自然を材料に使う造形遊びをする活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～枝を材料に使った造形遊び、身の周りで出会う花を絵に表す活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～学校のお気に入りの場所を絵に表す活動、ビニルひもを使った造形遊びをする活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1,2学年～「絵や立体，工作に表す活動」が72ページ，「造形遊びをする活動」が16ページ，「鑑賞する活動」が16ページであり，総ページは128ページで，前回よりも約14%増となっている。</p> <p>第3,4学年～「絵や立体，工作に表す活動」が72ページ，「造形遊びをする活動」が12ページ，「鑑賞する活動」が20ページであり，総ページは128ページで，前回よりも約14%増となっている。</p> <p>第5,6学年～「絵や立体，工作に表す活動」が68ページ，「造形遊びをする活動」が8ページ，「鑑賞する活動」が32ページであり，総ページは132ページで，前回よりも約18%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ いきいきと活動する児童の姿の写真を掲載したり（全学年），地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「図画工作を学ぶ皆さんへ」を設けたり（全学年），「未来へつながる図画工作」を設けたり（第5,6学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年），カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られているとともに，二次元コードを掲載し，材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については、「みんなのギャラリー」で、札幌市の「おおきなこどもにんぎょう」（第1,2学年）,「雪の世界遺産」（第3,4学年）,「つながるぞうけい」で、札幌市の「スライドマウンテン」（第3,4学年）,「形の中に入ってみると」で、美唄市の「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」（第5,6学年）の施設が掲載されている。</li> <li>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、「タブレットたんまつを使おう」で、端末の活用方法を例示するとともに、絵を描く活動をタブレット端末での活動に置き換えた作品例を掲載するなどの工夫がなされている（全学年）。</li> <li>○ 小中連携については、「未来へつながる図画工作」で、図画工作の学びが中学校では美術や技術・家庭（技術分野）につながることを示されるとともに、社会で活躍するさまざまな職業の人へのインタビュー内容が掲載されるなどの工夫がなされている（第5,6学年下）。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料や用具に関心を持ち、楽しく想像しながら学習を進めることができるよう、「学習のめあて」で学習の見通しを明確に示し、発想や構想を支える単元構成の配慮がなされている（全学年）。</li> <li>○ 児童同士が対話などの交流を通して、感じ方や考え方を深めることができるよう、鑑賞の題材を4～6ページとし、幅広い授業展開を可能にするなどの配慮がなされている（全学年）。</li> </ul>
<p>その他</p>	

番 号 観 点	発行者の番号・略 称	使用学年・分 野	教科書の記号・番 号	教科書名
	116・日文	第1,2学年 第3,4学年 第5,6学年	図工・107, 図工・108 図工・307, 図工・308 図工・507, 図工・508	ずがこうさく1・2上 まるごとたのしもう, ずがこうさく1・2下 まるごとたのしもう 図画工作3・4上 ためす見つける, 図画工作3・4下 ためす見つける 図画工作5・6上 わたしとひびき合う, 図画工作5・6下 わたしとひびき合う
取扱内容  学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標, 内容 等	<p>○ 造形遊びをする活動については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～砂や土に触れながら感じたことを行ったり、細い紙を切ってつなげたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第3,4学年～段ボールに切り込みを入れて組み立てたり、身近な材料に光をあて、影の形を組み合わせたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第5,6学年～身近な場所にある特徴を捉えてつくりかえたり、雪を固めて積み上げるなど自然の特徴を捉えたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>○ 絵や立体、工作に表す活動については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～紙を破いてできた形を並べ絵に表したり、楽しかったことや頑張ったことをねん土で表したりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第3,4学年～用具を使って切り出したねん土を組み合わせたり、彫刻刀で板を彫った線や形から表したいことを考えたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>第5,6学年～電動のこぎりを使い自由に切った板の形を組み合わせたり、材料の質感を感じながら組み合わせたりすることを通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう活動</p> <p>○ 鑑賞する活動については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～身の回りの自然や身近な物の触感を味わい言葉で表現したり、身の回りの草花を見つけ会話を想像し交流したりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>第3,4学年～身近な土の色や触感を感じ取ったり身の回りの形や色を写真に撮影し形や色のよさを感じ取ったり交流したりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>第5,6学年～友だちの作品や考えに触れ自分の思いを伝えたり、身の回りにある繰り返しの模様を見てよさや美しさについて話し合ったりすることを通して、面白さや楽しさを感じ取る活動</p> <p>○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～紙を折ったり切ったりして紙を立たせたり、紙でつくった形を写してできた形や色を楽しんだりすることを通して、形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p> <p>第3,4学年～紙の表と裏に絵を描き、紙を立ち上がらせたり、のこぎりを使って切った木の形を組み合わせて立体に表したりすることを通して、形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p> <p>第5,6学年～箱に穴を開け暗い中に差し込む光から想像する世界を表したり、今日的な社会問題を踏まえた未来の町づくりを計画し模型で表したりすることを通して、形や色などを基に自分のイメージをもつ活動</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「カラフルいろみず」の題材において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、色水を使いながらしてみたいことを考え、友だちと話し合い、色のつくり方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～「これでかきたい」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、用途に合わせた用具の使い方を考え、友だちと話し合い、用具の使い方を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～「自然を感じるすてきな場所」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自然の材料の形や色の特徴を考え、場所をどのようにつくりかえるかを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～砂や土の造形遊び、身近な自然を観察する活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ひもを使った造形遊び、段ボールを使った立体に表す活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～日常的に使用する道具に形や色を施す工作や、自然を感じる造形遊びの活動など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1,2学年～「絵や立体，工作に表す活動」が62ページ，「造形遊びをする活動」が17ページ，「鑑賞する活動」が12ページであり，総ページは132ページで，前回よりも約2%増となっている。</p> <p>第3,4学年～「絵や立体，工作に表す活動」が58ページ，「造形遊びをする活動」が12ページ，「鑑賞する活動」が13ページであり，総ページは128ページで，前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第5,6学年～「絵や立体，工作に表す活動」が68ページ，「造形遊びをする活動」が10ページ，「鑑賞する活動」が8ページであり，総ページは138ページで，前回よりも約8%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 授業での児童の表情や試行錯誤する情景写真を掲載したり（全学年），全国のさまざまな造形活動や美術館の取組，伝統工芸，美術作品などを掲載したり（全学年）するなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「教科書の使い方」を設けたり（全学年），「図画工作での学びを振り返ってみよう」を設けたり（第5,6学年）するなど，児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年），カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど，使用上の便宜が図られているとともに，二次元コードを掲載し，材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。</p>

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材については、「けずって見つけたいい形」で、札幌駅の「妙夢」（第5,6学年）,「美術館へ行こう」で、札幌芸術の森美術館の「ハロー！ミュージアム」（第5,6学年）,「ミニ・アートカード」で、糠平湖の「アイスパブル」（第5,6学年）,「もようから見つけて」で、公益財団法人アイヌ民族文化財団の「アットゥシ」（第5,6学年）の写真が掲載されている。</li> <li>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、撮影する、録音する、描き込むなどの、効果的な端末の活用方法を提案する工夫がなされている（全学年）。</li> <li>○ 小中連携については、「図画工作での学びをふり返してみよう」の「創造し続けるあなたへ」で、中学校へ向けてのメッセージが掲載されている（第5,6学年下）。</li> </ul>
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料や用具に関心をもち、楽しく想像しながら学習を進めることができるよう、「わざのひきだし」で、さまざまな表現方法を紹介するなど、発想や構想を支える単元構成の配慮がなされている（全学年）。</li> <li>○ 児童同士が対話などの交流を通して、感じ方や考え方を深めることができるよう、どの題材でも鑑賞を位置付け、友達の作品のよさや美しさを見付ける活動を取り入れ、児童のつぶやきの例を吹き出しで分かりやすくしたり、折込みページに写真やイラストを多数掲載したりする工夫がなされている（全学年）。</li> </ul>
<p>その他</p>	